

投資信託の運用損益別顧客比率

投信を保有するお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の運用損益を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

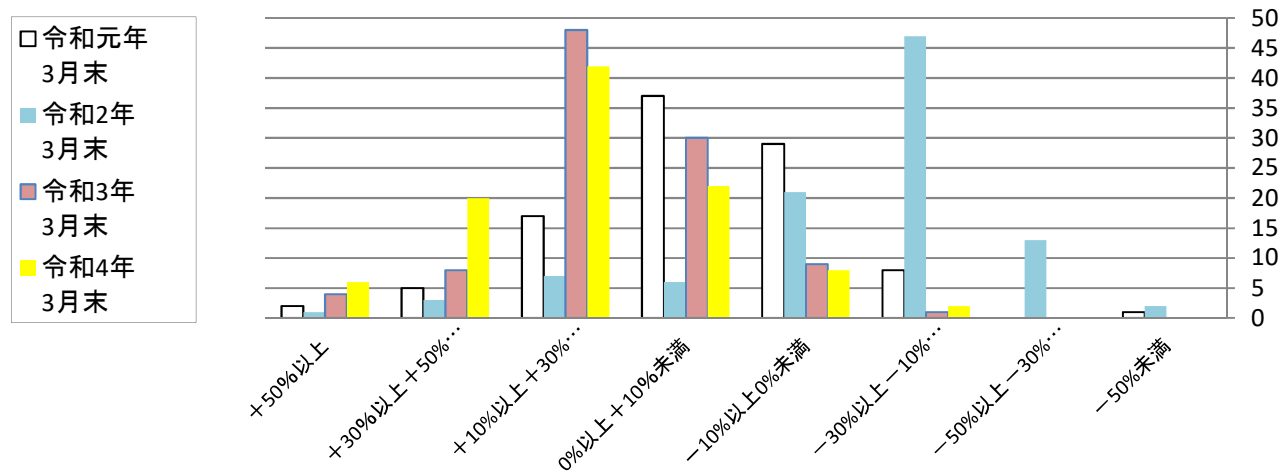
【プラス圏の推移】

令和4年3月末時点で90%のお客さまの運用損益がプラスとなりました。
 令和元年3月末時点で61%だったのが、令和2年3月末にはコロナショックで17%まで低下しました。その後、各国中央銀行の金融緩和策やコロナワクチンの接種開始とともにマーケットの混乱が落ち着き、運用損益もプラスのお客さまの割合が増加しました。その後、戦争、高インフレ、金融引き締めという逆風に過去に例のないような複合的な逆風に直面していますが、令和4年3月末時点では堅調な運成果となっています。

【運用損益の区分】	令和元年 3月末		令和2年 3月末		令和3年 3月末		令和4年 3月末	
	顧客数	割合(%)	顧客数	割合(%)	顧客数	割合(%)	顧客数	割合(%)
① +50%以上	81	2	53	1	134	4	219	6
② +30%以上+50%未満	186	5	105	3	272	8	719	20
③ +10%以上+30%未満	609	17	257	7	1,652	48	1,539	42
④ 0%以上+10%未満	1,289	37	213	6	1,018	30	802	22
⑤ -10%以上0%未満	1,008	29	699	21	310	9	265	8
⑥ -30%以上-10%未満	293	8	1,598	47	34	1	106	2
⑦ -50%以上-30%未満	8	0	443	13	4	0	5	0
⑧ -50%未満	25	1	77	2	21	0	17	0
合計	3,499	100%	3,445	100%	3,445	100%	3,672	100%
プラス圏	2,165	61	628	17	3,076	90	3,279	90

当年90%

(%)



基準日: 令和元年～令和4年の各3月末時点

運用損益: 基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引後)+累計売却金額-累計買付金額(販売手数料(税込)を含む)

運用損益率: 上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出